

平成 28 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



平成 28 年 10 月 28 日

上場会社名 株式会社ペッパーフードサービス 上場取引所 東
 コード番号 3053 URL <http://www.pepper-fs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 一瀬 邦夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事部長 (氏名) 猿山 博人 (TEL) 03 (3829) 3210
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 10 月 28 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 12 月期第 3 四半期の業績 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 12 月期第 3 四半期	15,957	41.3	628	88.3	619	85.9	314	106.1
27 年 12 月期第 3 四半期	11,295	89.4	333	△2.8	333	△1.6	152	△53.3

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 12 月期第 3 四半期	32.19	31.77
27 年 12 月期第 3 四半期	16.58	16.28

(注) 平成 27 年 7 月 1 日効力発生日として 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 12 月期第 3 四半期	7,858	2,478	31.5
27 年 12 月期	6,708	2,338	34.8

(参考) 自己資本 28 年 12 月期第 3 四半期 2,472 百万円 27 年 12 月期 2,334 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 12 月期	—	15.00	—	10.00	—
28 年 12 月期	—	10.00	—	—	—
28 年 12 月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成 27 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っており、平成 27 年 12 月期第 2 四半期末実績につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成 28 年 12 月期の業績予想 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,200	43.2	937	23.1	928	22.0	488	18.6	49.91

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	9,800,600株	27年12月期	9,755,100株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	63株	27年12月期	63株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	9,777,187株	27年12月期3Q	9,205,878株

(注) 平成27年7月1日効力発生日として1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果から、景気回復が期待されておりましたが、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速や英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融・資本市場への影響が懸念されるなど、本格的な景気回復には至っておらず、先行きは不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては、円高による輸入価格の低下が見られるものの、引き続き人手不足の影響による人件費の増加や、他業種とのお客様獲得競争も激化しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社は「従業員に夢と希望を与え、お客様ご満足の最大化」を基本方針として、年間60店舗出店を目標にペッパーランチ業態及びいきなり！ステーキ業態の出店拡大に取り組むと共に、引き続きお客様への安心・安全な商品提供ができる体制強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高15,957百万円（前年同期比41.3%増）、営業利益628百万円（前年同期比88.3%増）、経常利益619百万円（前年同期比85.9%増）、四半期純利益314百万円（前年同期比106.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ペッパーランチ事業

ペッパーランチ事業につきましては、年間20店舗出店を目標にスタートが切られ、7月1日より「楽天ポイントカード」開始キャンペーン第2弾としてペッパーランチオリジナルカードの限定発売を開始しました。また、8月1日より、ペッパーランチ新アプリを導入し、スクラッチクーポン等の新機能を搭載し、リピート率向上を図るとともに新規のお客様獲得に努めてまいりました。

また、国内ペッパーランチは、平成24年11月から平成28年9月末まで47ヶ月連続で、既存店昨年対比売上100%超えを達成しております。

海外におけるペッパーランチ事業では、各店舗の売上は、引き続き好調に推移いたしましたが、前年同期からの円高に伴う為替の影響により新規出店に伴う機器等の売却、ロイヤリティ収入などの売上は240百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

この結果、当期第3四半期累計期間における売上高は4,293百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は785百万円（前年同期比14.6%増）となりました。また、新規出店数は60店舗（うち海外45店舗）であり、ペッパーランチ事業全体の店舗数は387店舗となりました。

② レストラン事業

レストラン事業につきましては、既存店の売上及び利益の向上に努めてまいりました。また、ステーキ業態「炭焼ステーキくに」では、月に1回行われている異業種交流会「美味しいステーキを楽しく食べる夕べ」の継続的な開催により、ブランドイメージの向上を図ってまいりました。

しかしながら、「牛たん仙台なとり」において、お客様リピートの伸び悩みにより売上が伸びませんでした。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,692百万円（前年同期比9.4%減）。営業利益は102百万円（前年同期比25.2%減）となりました。また、新規出店数は1店舗であり、レストラン事業全体の店舗数24店舗となっております。

③ いきなり！ステーキ事業

いきなり！ステーキ事業につきましては、年間40店舗出店を目標にスタートが切られ、王様のランチとコラボ企画として、「王様のサラダセット」の全店発売（7月9日から9月30日）や、赤坂サカスで開催される夏の食イベント「TBSデリシャスカス2016」に昨年に続き2度目の出店（7月16日から8月30日）を行いました。

また、H.I.S.とのタイアップ企画として、期間中H.I.S.の関東135店舗にて旅行をお申し込みの先着10万名様に、H.I.S.オリジナル肉マイレージカード（300円クーポン入り）のプレゼント（7月23日から10月22日まで使用可能）を実施いたしました。6月には、いきなり！ステーキの提供システムにて、特許を取得し、8月には、いきなり！ステーキの恵比寿店にて100号店を達成いたしました。また、9月には新商品として骨付きリブコース「トマホークステーキ」の10店舗限定での販売や、肉マイレージ自動対応型レジ開発が完了し、レジでのスピードアップによる効率化と全店導入することにより、肉マイレージシステムのバージョンアップを図りました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は9,931百万円（前年同期比79.3%増）、営業利益は532百万円（前年同期比117.0%増）となりました。また、新規出店数は23店舗であり、いきなり！ステーキ事業全体の店舗数は100店舗となっております。

④ 商品販売事業

商品販売事業につきましては、「とんかつソース」、「冷凍ペッパーライス」及び「冷凍ハンバーグ」に加えて6月には、家庭でも味わえる「いきなり！ステーキセット」のネット販売も開始し、売上向上並びに新規顧客の獲得を目指してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は40百万円（前年同期比29.9%増）、営業損失は1百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて1,149百万円増加し、7,858百万円となりました。これは主に、現金及び預金が352百万円増加したこと、建物(純額)が518百万円増加したこと、未収入金(流動資産・その他)が66百万円減少したこと並びに敷金及び保証金が134百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べて1,009百万円増加し、5,379百万円となりました。これは主に、買掛金が174百万円増加したこと及び借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べて140百万円増加し、2,478百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により195百万円減少したこと、第7回ストック・オプションが発行されたこと及び第4回・第5回・第6回ストック・オプションの一部が行使や失効されたことにより、新株予約権が2百万円増加し、資本金、資本準備金がそれぞれ11百万円増加したこと並びに四半期純利益を314百万円計上したことによるものです。また、自己資本比率は前事業年度末に比べて3.3ポイント減少して31.5%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,640,635	1,993,262
売掛金	705,145	667,573
商品	118,907	125,611
貯蔵品	20,529	24,760
繰延税金資産	31,162	37,498
その他	484,987	462,598
貸倒引当金	△702	△547
流動資産合計	3,000,665	3,310,756
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,433,795	3,128,264
減価償却累計額	△473,916	△649,680
建物(純額)	1,959,878	2,478,584
その他	899,026	1,017,099
減価償却累計額	△490,188	△576,763
その他(純額)	408,838	440,336
有形固定資産合計	2,368,716	2,918,921
無形固定資産	63,470	86,518
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,169,772	1,303,943
その他	117,732	249,790
貸倒引当金	△11,438	△11,593
投資その他の資産合計	1,276,066	1,542,140
固定資産合計	3,708,253	4,547,579
資産合計	6,708,918	7,858,335

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,863,284	2,038,100
短期借入金	27,000	16,500
1年内返済予定の長期借入金	443,324	672,928
未払金	408,211	232,296
未払法人税等	180,525	222,811
役員賞与引当金	2,900	—
賞与引当金	—	30,000
資産除去債務	9,758	251
その他	483,048	732,801
流動負債合計	3,418,052	3,945,688
固定負債		
長期借入金	432,513	845,426
受入保証金	385,577	422,042
繰延税金負債	12,975	—
資産除去債務	118,932	165,505
その他	2,409	963
固定負債合計	952,408	1,433,938
負債合計	4,370,460	5,379,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,254,340	1,265,404
資本剰余金	534,853	545,917
利益剰余金	544,904	664,153
自己株式	△62	△62
株主資本合計	2,334,035	2,475,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100	△3,083
評価・換算差額等合計	100	△3,083
新株予約権	4,321	6,381
純資産合計	2,338,457	2,478,709
負債純資産合計	6,708,918	7,858,335

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,295,350	15,957,705
売上原価	6,162,635	8,853,401
売上総利益	5,132,715	7,104,303
販売費及び一般管理費	4,799,003	6,475,954
営業利益	333,711	628,349
営業外収益		
受取利息	166	476
受取配当金	103	142
受取賃貸料	3,891	2,619
協賛金収入	10,722	9,419
受取補償金	—	5,806
その他	4,205	2,990
営業外収益合計	19,089	21,455
営業外費用		
支払利息	8,121	8,633
社債利息	246	—
株式交付費	3,240	3,027
為替差損	5,221	8,144
その他	2,929	10,946
営業外費用合計	19,757	30,752
経常利益	333,042	619,052
特別利益		
固定資産売却益	—	1,296
新株予約権戻入益	17	221
違約金収入	11,717	—
特別利益合計	11,735	1,517
特別損失		
固定資産除却損	11,601	8,182
減損損失	21,481	—
特別損失合計	33,082	8,182
税引前四半期純利益	311,695	612,387
法人税、住民税及び事業税	72,757	318,096
法人税等調整額	86,272	△20,387
法人税等合計	159,029	297,708
四半期純利益	152,666	314,678

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

当第3四半期累計期間において、第4回、第5回のストック・オプションの行使及びマイルストーン キャピタル マネジメント株式会社から新株予約権の行使を受けました。この結果、当第3四半期累計期間において、資本金が415,752千円、資本準備金が415,752千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,249,990千円、資本準備金が530,503千円となっております

当第3四半期累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ 事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	3,857,775	1,868,374	5,537,931	31,269	11,295,350	—	11,295,350
計	3,857,775	1,868,374	5,537,931	31,269	11,295,350	—	11,295,350
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	686,078	137,145	245,318	△2,061	1,066,481	△732,769	333,711

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△732,769千円は、各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ペッパーランチ事業」及び「レストラン事業」において、当第3四半期累計期間に営業活動から生ずる損益
 が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額
 を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間におい
 ては「ペッパーランチ事業」14,999千円、「レストラン事業」6,481千円であります。

当第3四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	ペッパー ランチ事業	レストラン 事業	いきなり! ステーキ 事業	商品販売事業			
売上高 外部顧客へ の売上高	4,293,217	1,692,045	9,931,820	40,621	15,957,705	—	15,957,705
計	4,293,217	1,692,045	9,931,820	40,621	15,957,705	—	15,957,705
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	785,931	102,639	532,309	△1,923	1,418,957	△790,608	628,349

(注) 1. セグメント利益の調整額△790,608千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。